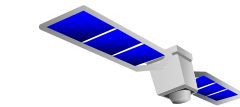


総務省における準天頂衛星の利活用促進に関する取組(平成31年度予定)

【平成31年度政府予算案】ICT国際競争力強化パッケージ支援事業3.8億円(平成30年度補正予算12億円)の内数

- 平成31年度は、「みちびき」の高精度な位置情報のさらなる利活用の促進を図るため、東南アジアにおいて、林業分野を対象に実証を予定。
- トラクターの走行軌跡から得られる標高データ及びドローンのセンシングにより得られる樹高データを用いて伐採する木の量を推定するなど、従来多大な労力を要していた森林蓄積量調査の効率化を図る。

森林蓄積量 調査の効率化



準天頂衛星



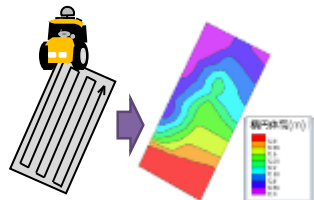
ドローン

高精度位置情報



トラクター

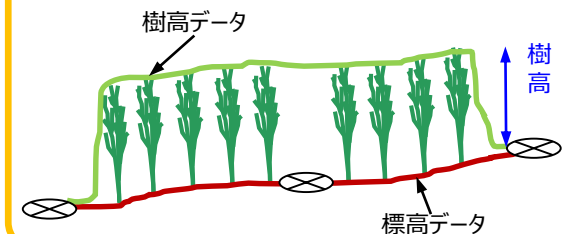
トラクター走行軌跡から
標高データ作成(測位)



ドローンが撮影する写真から
樹高データ作成



2つのデータを基に森林資源量を推定



森林蓄積量を効率的に推定